

新病棟のご案内



National Hospital Organization
**HIGASHISAGA
HOSPITAL**

信頼関係を大切にし、
地域に根ざした良質な医療を提供します。

国立病院機構東佐賀病院

ごあいさつ



院長 貞松 篤

本日はご多忙のおり、新病棟見学会にご参加いただきありがとうございます。今年度3月をもちまして一般・結核病棟、機能訓練室・検査室が完成いたしました。今後、学会・研修・QC活動を三本の矢とし、中身の充実を図り、名実共に新しくなったと言える、東佐賀病院を目指します。

第1病棟

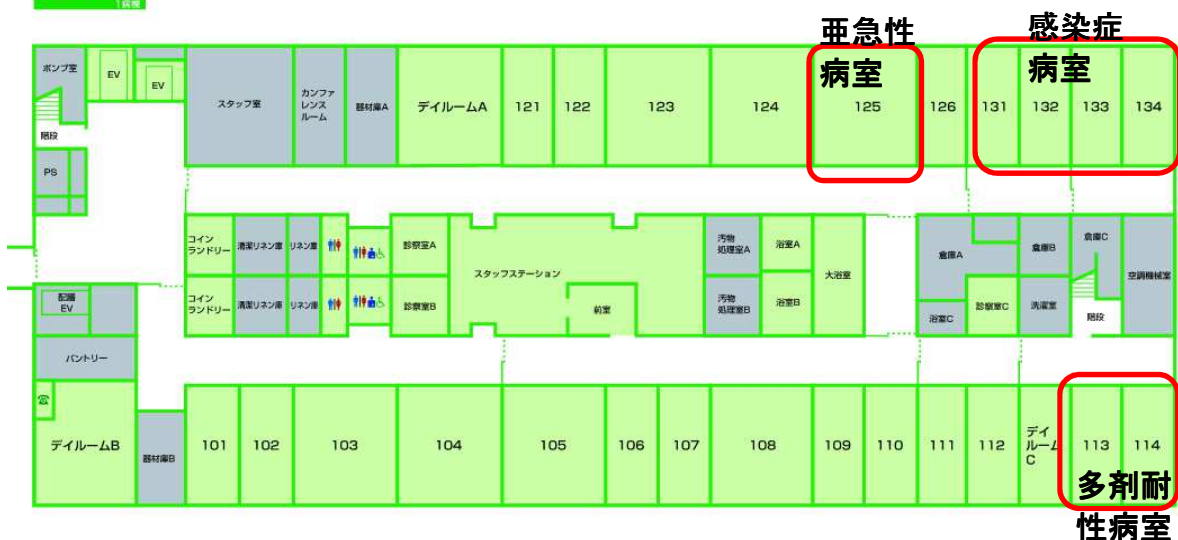
結核30床・一般(呼吸器)16床・感染症4床

当病棟は、結核病床・一般呼吸器疾患(肺炎・気管支炎)病床・感染症病床にて構成されています。

結核治療においては佐賀県下における肺結核最終拠点病院として佐賀県はもとより県外の結核医療にも貢献しています。また、一般呼吸器疾患(肺炎・気管支炎)病床も同じフロアに設置していることから効率的な診断治療を行うことができます。

なお、感染症病床は、佐賀県内で新型インフルエンザ等が発生した場合の入院施設となっています。

1F

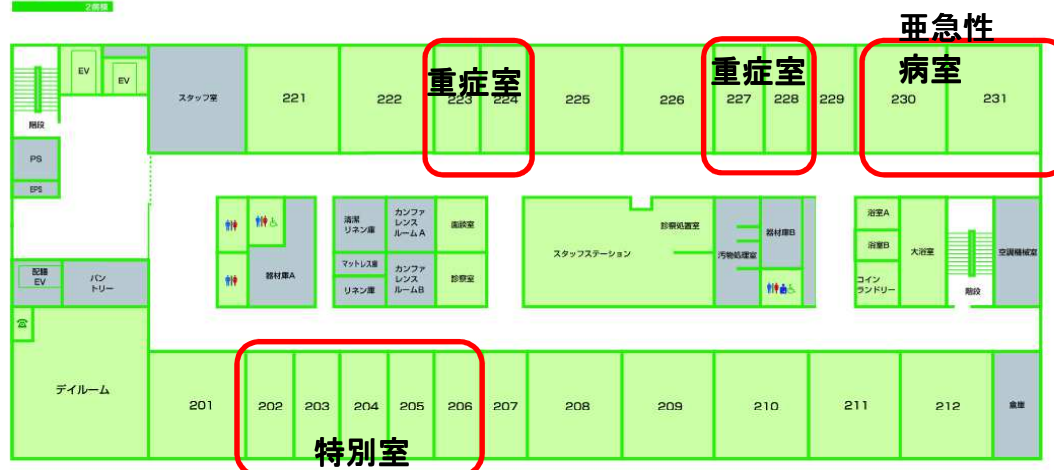


第2病棟

一般(整形外科・糖尿病)60床

整形外科では、四肢の骨折や変形性膝関節症に伴う骨接合術や人工関節置換術を行っています。術後はリハビリテーションと共に連携を図りADL向上に努めています。高齢者が増え、退院支援への介入が必要な症例も多いため、地域で提供される資源を活用し、ケアマネージャー等の関連職種と共に退院に向け支援しています。糖尿病内科では、血糖コントロール入院のほか、コメディカルとも連携し、2週間の教育入院も行っています。糖尿病療養指導士が主となり生活指導の実施、インシュリン療法やフットケアなどの指導を個別的に実施しています。

3F
3階



第3病棟

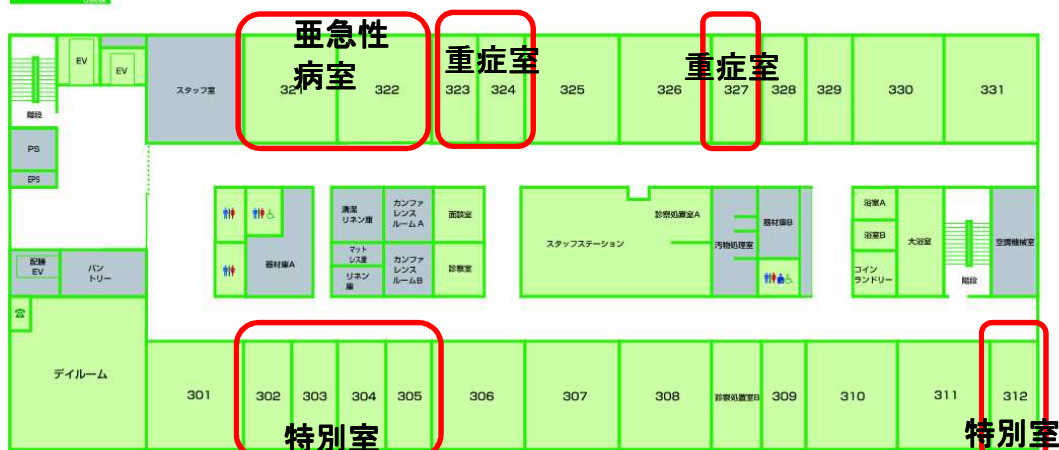
一般(消化器・外科・小児科・循環器)60床

消化器内科・外科では、肝臓病、胃腸疾患、悪性腫瘍を主体に専門的治療を行い、胆石症、虫垂炎、ヘルニアなどの手術も行っています。

循環器内科では、心不全、不整脈の患者を中心に診断・治療を行っています。

小児科では、気管支喘息、難治性心臓病、てんかん及び感染症の診療を行っています。

4F
4階



検査室

生理検査:心臓エコー、頸動脈エコー、聴力の検査を行います。ABI(血管の硬さ)心電図、負荷・24時間心電図検査、小児科脳波等の検査を行います。

細菌検査:ノロウイルス、肺炎、その他の感染症についての細菌検査を行います。

検体検査:糖尿病検査、肝機能、貧血、腫瘍マーカー、輸血検査を行います。

細胞検査:呼吸器科、外科及び各科提出される細胞の悪性の有無を検査します。

※迅速・正確な検査を目標としております。外来受診時の検体検査は、1時間で結果の報告をいたします。(外部委託検査を除く)

※また、生理検査は女性技師による対応をいたします。

乳腺、心エコー、心電図等、患者様に優しい検査を実施いたしております。

機能訓練室

整形外科疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、障害児(者)等に対して早期社会復帰や身体機能の向上を図るため、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のリハビリ専門職種が疼痛の軽減、関節の動きの改善、筋力の改善、協調性の改善、日常生活動作の改善、摂食・嚥下(食べる・飲み込む)機能の改善、言語訓練等にアプローチしています。

また、佐賀県東部地域では数少ない心臓リハビリテーションの実施、地域医療機関・福祉施設との連携による嚥下造影検査(VF検査・飲み込みの状態を確認)の実施、地域住民への出張講演を実施しております。

2F
増設・H4/97-100

